

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概要	名称	一般社団法人宮崎県酪農公社		所在地	都城市御池町無番地		
	電話番号	0986-33-1816		ホームページ	http://m-chikusan.jp		
	設立年月日	昭和43年8月12日	代表者	理事長 平島善範	県所管部・課	農政水産部畜産局 畜産振興課	
	総出資額	160,580 千円		県出資額	80,000 千円	県出資比率	49.8%
	設立目的	県内における畜産農家の乳用育成牛預託に係る哺育、育成及び家畜の能力検定、乳用牛・肉用牛の育成・繁殖等を行うことにより、畜産の近代化を強力に推進するとともに、家畜の生産改良を促進し、もって当該地域の農業生産力の増強と農業者の経済的社会的地位の向上を図ることを目的とする。					
特記事項							

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①公社等のあり方見直し		(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(計画)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	(実績)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施し、令和6年度を目標とする次期経営改善計画を策定した。	(実績)令和6年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。	(計画)令和6年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。
	財務改善	(実績)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげたことで、単年度黒字化を達成できた。	(実績)預託サービスの向上と推進活動を図ったが、飼料や生産資材の価格高騰により、預託頭数の確保が難しく、単年度黒字を達成できなかった。	(計画)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげ、単年度黒字化を達成する。
	組織等適正化	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(計画)施設規模・頭数規模にあった人員配置(組織体制)を行い、更なる効率化を図り、人材育成に努める。
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(計画)酪農公社の経営の自立化の促進を図るために、経営改善チーム会議や実績検討会による継続的な経営改善指導を実施する。
	財政支出見直し	運営補助金の見直し検討	見直し済み	見直し済み
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(計画)ホームページでの情報公開の更なる充実を図る。

	(人)	令和4年度			令和5年度				
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	11	2	0	9	11	2	0	9
	常勤	1	0	0	1	1	0	0	1
	非常勤	10	2	0	8	10	2	0	8
	職員数	15	0	0	15	13	0	0	13
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	300	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	4,794	5,069	15,928	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等	宮崎県酪農公社強化育成事業に係る県からの借入金119,000千円 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)								

主な 県 財政 支出 の 内容	事業名	事業内容	令和4年度 決算額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	種別	
	①	宮崎県酪農公社運営強化対策事業	酪農公社施設整備等に係る起債償還額の一部助成	2,768	2,769	補助金
	②	未来の畜産を担う産業人材育成事業	酪農公社を働く場兼高度な研修の場と位置づけ、研修型雇用による人材育成への助成	2,298	0	補助金
	③	乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業	県内酪農家の物価高騰による影響緩和を図るため、酪農公社の乳用育成牛育成預託事業の預託料の値上げ相当分にかかる経費の一部助成	10,862	0	補助金
	④					
	⑤					

活動 指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値	
①	預託牛入牧延べ頭数	頭	255,500	241,265	94.4%	255,500	255,500	
②	年間生乳出荷数量	トン	1,000	950	95.0%	1,000	1,000	
③								
指標の設定に関する留意事項		令和4年3月に策定した経営改善計画の数値を基に目標を設定						

財務 状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	経常収益	441,733	443,308	459,504	資産	308,189	285,181	331,205
	経常費用	434,888	438,743	483,743	流動資産	119,765	114,137	156,153
	当期経常増減額	6,845	4,565	-24,239	固定資産	188,424	171,044	175,052
	経常外収益	641	759	797	負債	438,125	413,602	489,365
	経常外費用	4,452	3,739	6,226	流動負債	382,403	366,271	426,825
	当期経常外増減額	-3,811	-2,979	-5,429	固定負債	55,723	47,332	62,540
	税引前当期一般正味財産増減額	3,034	1,585	-29,668	正味財産	-129,936	-128,421	-158,160
	法人税・住民税及び事業税	71	71	71	指定正味財産	160,580	160,580	160,580
	当期一般正味財産増減額	2,963	1,514	-29,739	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期末残高	2,963	1,514	-29,739	一般正味財産	-290,516	-289,001	-318,740
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0				
	正味財産期末残高	2,963	1,514	-29,739				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値	
①	当期収支差額	当期純利益(千円)	2,426.8	-29,738.6	-1225.4%	3,064.4	8,725.2	
	※ 令和4年度 実績値の算式	-29,739千円						
②	自己収入比率	自主事業収入/総支出額×100(%)	100.2	79.3	79.1%	100.3	101.5	
	※ 令和4年度 実績値の算式	383,632千円/(395,062千円+88,681千円)×100						
③	管理費比率	管理費/総支出額×100(%)	23.8	18.3	123.1%	25.0	23.1	
	※ 令和4年度 実績値の算式	88,681千円/(395,062千円+88,681千円)×100						
指標の設定に関する留意事項		当会社の課題は累積欠損金の早期解消であり、令和4年3月に策定した経営改善計画に基づき、当期収支差額の黒字化を指標としている。						

直近の県監査 の状況	令和4年度包括外部監査(令和4年7月27日から令和5年3月15日)において下記の指摘事項があった。 ・財務諸表体系について ⇒経理規程に定めのある剰余金の処分について、作成の必要がないとの指摘があり、理事会を経て経理規定の改定を行うことで対応済みである。
---------------	---

総合評価	公社等 自己評価	<p>基幹事業である乳用牛育成預託部門について、飼料・資材・燃料等の高騰から、酪農家が経費削減のために預託を控える動きが見られ、預託頭数は目標頭数を下回った。また、乳用牛部門においても、期間の平均搾乳頭数及び平均出荷日量が前年よりも減少し、売上高は計画・前年ともに下回った。</p> <p>それに加え、飼料・資材・燃料の高騰による売上原価の増加も影響したことで、令和4年度は赤字決算となった。</p> <p>令和5年度についても事業計画上では赤字決算の見込となっているが、これまで同様関係機関との連携し令和4年3月に策定した第4次経営改善計画を確実に実行することで経営改善を図っていく。</p>				県所管部課 二次評価	<p>これまで単年度黒字を達成していたが、飼料や資材、燃料等の高騰の影響による生産原価の上昇もあり、令和4年度は損失を計上することとなった。</p> <p>加えて、県内酪農家の乳用牛育成預託の利用拡大に向け、説明会やパンフレットの配布等による周知を図ったが、酪農情勢の悪化によって、酪農家が経費削減のために預託を控えたことから、預託頭数は目標を達成できなかった。</p> <p>令和5年度については、引き続き、飼料・資材の価格高騰が懸念されるが、令和4年3月に策定した第4次経営改善計画を確実に実行し、単年度黒字を達成する必要がある。</p>			
	評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	B	C	B		B	B	C	B
	目標 達成度	<p style="text-align: center;">-1500% -1000% -500% 0% 500%</p> <p style="text-align: center;">活動指標① 0%</p> <p style="text-align: center;">活動指標② 0%</p> <p style="text-align: center;">活動指標③ 0%</p> <p style="text-align: center;">財務指標① -1000%</p> <p style="text-align: center;">財務指標② 0%</p> <p style="text-align: center;">財務指標③ 0%</p>				公社等改革 推進委員会 三次評価	<p>活動内容について、飼料価格高騰等の影響もあり、事業の中心である預託の目標値を達成することができておらず、取組の強化が求められる。</p> <p>財務内容については、近年経常黒字が続いていたが、令和4年度においては、上記価格高騰の影響から経費が増加し、経常赤字となり債務超過額が膨らんでいる。</p> <p>今後も価格高騰の影響は免れないが、経営改善計画に基づき収支改善を図り、債務超過額の圧縮が求められる。</p>			